

新ごみ処理施設整備に向けた取り組み状況について

新ごみ処理施設整備につきましては、昨年度から建て替えに伴う周辺的生活環境影響調査を進めるとともに、今年度から（仮称）新ごみ処理施設整備基本計画（以下、「基本計画」という。）の策定に向けて検討を進めるなど、建て替えに向けた取り組みを進めているところです。

新ごみ処理施設整備にかかるこれまでの報告内容、主な検討状況、そして今後の取り組み等について報告いたします。

1. これまでの報告内容

第 61 回環境審議会（H29. 5. 29）において、新ごみ処理施設の建設に向けた検討を開始したこと、第 64 回環境審議会（H29. 12. 22）では、新ごみ処理施設の建設場所を旧大久保清掃工場跡地（「現クリーンセンター敷地内」※裏面参照）に決定したことを報告させていただきました。

また、進捗に応じて第 65 回（H30. 3. 20）及び第 66 回環境審議会（H30. 11. 21）では、生活環境影響調査を実施する旨の報告、そして前回の第 68 回環境審議会（R1. 11. 15）では、基本計画の策定に向けた業務を開始したこと、新施設の処理方式や大久保清掃工場の解体方法等、専門的な内容を検討するため、学識経験者で構成する技術支援会議を設置し、助言を求めていることを報告させていただきました。

2. 主な検討状況

技術支援会議での助言から、可燃ごみの処理方式については、あらゆる方式の中から熱処理方式に限定し、また、破砕選別施設のあり方については、事業の継続性・災害時等の対応・用地確保・経済性等の観点から、市が主体で施設整備を行う方針で、メーカーアンケートを実施し、現在、集計作業を進めています。（別紙 1～3、検討資料等参照。）

3. 今後の取り組み

アンケート結果を基に検討した内容を技術支援会議等で、基本計画の素案をまとめていきます。また、その素案について、パブリックコメントを約 1 か月間実施し、市民意見を募る予定です。

4. その他

「多くの市民に利用される多機能型施設の検討」に関して、現在集計中のメーカーアンケートの結果がまとまり次第、余熱利用の可能性等を踏まえ、本審議会へご報告させていただきたいと考えています。その際は、積極的な意見を賜りたいと考えていますので、ご協力の程、よろしくお願いいたします。

明石クリーンセンター付近見取り図

